

平成24年度 埼玉高速鉄道(株)経営懇話会の概要について

1 日 時 平成24年8月22日(水) 14:00~15:40

2 場 所 埼玉教育会館 303会議室

3 概 要

(1)・(2) 埼玉高速鉄道株式会社の経営状況及び経営改善計画の取組状況について

・ 会社から平成23年度決算及び増客増収や経費削減等の経営改善計画の取組状況等について説明。

・ 主な質疑(県、沿線市及び会社が答弁)

Q 平成23年度は輸送人員の目標と実績の差が広がっている。

A 23年度は定期客がほとんど伸びていないが、今年度は通勤定期が3%伸びていて、サッカー客も上振れ幅があるなど環境改善がされている。

Q 今年度は決算や経営改善計画の指標が前年度と比較して見易くなったが、さらに表自体がどのような意味合いを持っているかを考えて作成して頂きたい。

A 今後は分かりやすく作成していきたい。

Q 輸送人員が伸び悩んでいる。経費の削減等も大切だが、輸送人員をしっかり確保していくことが必要であり努力していただきたい。

A 想定外のことが多くあって目標に届かなかった面もある。しかしまだ伸びしろがあり、プランから2年しか経っていない。今年はスタートがいいので期待している。

Q 来年3月には副都心線と東横線が結びつき、東武線とつながり川越等集客力があるところと結ばれる。是非横浜方面にも積極的に沿線をPRすべきと考えるがどうか。

A 県が沿線情報を都内でポスティングするなどサポートしてくれている。また、会社としても市や商工会議所と沿線資源の開発について継続して行っていきたい。

Q 財務及び経営の視点から、定期収入を増やす目標についても考えて頂きたい。

A 財務及び経営の視点からも考えていきたい。

(3) 経営改革プランに係る県及び沿線市の取組状況について

・ 県から平成24年度の県・沿線市の利用促進等の取組状況や、沿線の開発状況等について説明。

・ 主な質疑(県、沿線市及び会社が答弁)

Q 新井宿のレンタサイクルの実際の利用と広報がどうなっているのか教えて頂きたい。また木下大サーカスのパンフレットの工夫をお願いしたい。

A 平成23年度はトータル259台で、広報かわぐち等を用いてPRを行った。レンタサイクルの需要はあると思われ、定期外のお客さん呼び込むよい材料となるので活用していきたい。

Q 昨年度話題になったバス路線の進捗状況はどうなっているか。

A (川口市) 運行しているコミュニティバスについて、平成24年度は現状どおりだが、25年度秋口から新しい路線での運行ができるように策定中。

(さいたま市) 今年度は新しいバス路線の編成はないが、西側駅前広場の整備に合わせて編成の見直しも必要となってくる。

Q 財務損益とは別に資金面での見直しも今後は必要になってくると思うが、計画されているのか。

A 経営改革プランでは長期的に会社の自立を目標としており、今のところ見直しは特に予定していない。しかし大きな状況変化等があった場合は、会社から報告を頂き、経営懇話会で先生方のご指導を頂きたいと思っている。